

戦後最悪の

惨事となった

東日本大震災

に総理だった

らどう対応す

る？ こんな

音潮海

設問に、子どもたちは

新聞記事を読みながら

産業立地や避難対策な

ど項目ごとに問題点を

分析し、意見にまとめ

て発表し合う◆鳥取市

内の学習塾が取り組む

マクロ社会学という授

業だ。高一男子は「原

発事故を繰り返さない

対策ができないなら別

のエネルギーにすべき

だ」と訴え、「野球の

ナイターは当面中止

し、自取機の夜間照明

を落とす」と電力確保

策を提唱する◆社会へ

の関心が高まる子ども

たち。脳死や裁判員裁

判などの最新ニュース

も学び、ニュース検定

に団体で挑む。ニュー

ス検定は新聞などのこ

ユースを読み解くため

の時事力を認定するも

ので、学習成果を試す

のに最適だからだ◆授

業で子どもたちの質問

回数が着実に増え、思

考力やコミュニケーション

力が伸び、自信に

つながったという。塾

の経営者は新聞を毎日

読むように奨励し、「こ

ユースに強い子ども

育成に情熱を燃やす◆

同検定協会理事で、ジ

ャーナリストの池上彰

さんは「ニュースを理

解できれば自分がどう

生きていへか判断も可

能になる」と指摘する。

社会の理解が人生にも

影響する。新聞を大い

に活用し、検定で力試

しをこころしい。鳥取

でも6月19日である。